



# 平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年8月9日

上場会社名 株式会社グローバルウェイ  
 コード番号 3936 URL <http://www.globalway.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 各務 正人  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部長 (氏名) 山本 慶一  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03(5441)7193

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第1四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	258	3.4	61		60		61	
29年3月期第1四半期	250		21		18		11	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	52.73	
29年3月期第1四半期	10.10	9.92

(注)当社は、平成28年3月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、平成29年3月期第1四半期対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
30年3月期第1四半期	986		507		51.3	
29年3月期	1,022		565		55.3	

(参考)自己資本 30年3月期第1四半期 506百万円 29年3月期 565百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)									
通期	1,300	27.2	1		1		0		0.43

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	1,158,980 株	29年3月期	1,156,350 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	株	29年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	1,157,511 株	29年3月期1Q	1,124,867 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料P3.「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用情勢に改善傾向が見られ、緩やかな回復基調が続いております。一方で、個人消費は伸び悩んでおり、新興国経済の減速、英国のEU離脱問題、米国の新政権による政策動向等不安定な海外情勢の影響が懸念され、日本経済は先行き不透明な状況で推移しました。

当社のソーシャル・ウェブメディア事業が属するインターネット関連市場を取り巻く環境につきましては、スマートフォンやタブレット端末の普及に伴い、インターネット利用人口の拡大が続いております。これに伴い、インターネットを利用した企業の情報収集ニーズが活発化しており、当社サービスに対する需要は高まっております。

また、当社のビジネス・ウェブアプリケーション事業が属するクラウド市場を取り巻く環境につきましては、企業が進める働き方改革や、オムニチャネル等のデジタル変革に伴うIT投資によって、引き続き、当社サービスに対する需要は高まっております。

このような環境の中、ソーシャル・ウェブメディア事業では、株式会社ディスコより事業譲受したキャリア転職をキャリアコネ転職に統合し4月1日よりサービスを開始いたしました。併せて、売上高の伸長を目的とした熊本営業所の開設及び増員など組織体制強化のため先行投資を行っております。ビジネス・ウェブアプリケーション事業では、IoT（注1）に係る新規取引先からの引き合いもあり前年同四半期比で売上高が増加しております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は258,852千円（前年同四半期比3.4%増）、営業損失は61,645千円、経常損失は60,993千円、四半期純損失は61,043千円となりました。

当社のセグメントの業績は次のとおりであります。

## ① ソーシャル・ウェブメディア事業

ソーシャル・ウェブメディア事業は、インターネット上にて運営している働く人のための情報プラットフォーム「キャリアコネ」は、当第1四半期累計期間の訪問者数は15,403千人（前年同期間は、12,289千人）となりました。訪問者数と売上高が強く相関する収益構造である「キャリアコネ」へのユーザーを誘導するため、転職希望者向けに企業情報をまとめた特化型キュレーションメディア「TENSHOCK（テンショック）」や働く人のキャリア形成のための「キャリアコネニュース」を展開し訪問者数増加の施策を実行してまいりました。また、4月1日に事業を譲り受けた国内求職者向け転職Webサービス（キャリア転職）と当社既存サービス（キャリアコネ転職）との統合が完了し「新キャリアコネ転職」としてサービスを開始いたしました。契約企業数は約1,100社から3,000社超に増加し、さらに求人掲載企業の獲得等を目的とし、熊本県に営業拠点を4月に開設し運営を開始しております。人材紹介を行うリクルーティングサービスは、サービス品質の向上を目的としたキャリア・コンサルタント教育に引き続き注力しております。C2C向けサービス（注2）及びシェアリング・エコノミー型サービス（注3）を展開する「TimeTicket（タイムチケット）」においては、ユーザー数増加及びサービス利用の活性化に重点を置いており、広告宣伝費の投資及びシステム改修を行っております。

この結果、当第1四半期累計期間におけるソーシャル・ウェブメディア事業の売上高は126,621千円（前年同四半期比9.7%減）、セグメント損失は26,293千円となりました。

## ② ビジネス・ウェブアプリケーション事業

ビジネス・ウェブアプリケーション事業は、eコマース/CRM（注4）、販売管理、IoT/BigDataを今年度の重点領域に定め技術力を蓄積するとともに、Salesforce.com社、Talend社、Domo社及びAmazon社との協業を進めております。これらパートナー製品の再販及び導入支援サービスに加えて、Voxerをはじめとしたクラウド型自社製品の開発と販売にも注力しております。第1四半期累計期間においては、上記重点領域での新規契約が順調に推移しました。

この結果、当第1四半期累計期間におけるビジネス・ウェブアプリケーション事業の売上高は132,231千円（前年同四半期比20.0%増）、セグメント利益は6,359千円（同67.5%減）となりました。

（注1）IoTとは、Internet of Thingsの略称。全ての「モノ」がインターネットを介して繋がり、モノ同士が人の操作・入力を介さず自律的に最適な制御が行われることを意味する。

（注2）C2C向けサービスとは、商取引の形態のうち主に一般消費者どうしの売買・取引を扱う形態のサービス。

（注3）シェアリング・エコノミー型サービスとは、個人間で、個人が保有する遊休資産（スキルのような無形のもの含む）の貸出しを仲介するサービス。

（注4）eコマース/CRMとは、企業のマーケティング活動及び商談管理を効率化するクラウド型サービス。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末の資産の合計は、前事業年度末に比べ36,491千円減少し、986,496千円となりました。これは主に、売掛金の減少33,891千円、現金及び預金の減少17,617千円、無形固定資産の増加7,487千円によるものであります。

負債の合計は、前事業年度末に比べ20,979千円増加し、478,528千円となりました。これは主に、前受金の増加50,445千円、買掛金の増加9,200千円、未払費用の減少21,258千円、長期借入金の減少15,003千円によるものであります。

純資産の合計は、前事業年度末に比べ57,470千円減少し、507,967千円となりました。これは四半期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少61,043千円、新株予約権の増加1,960千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、平成29年5月12日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	630,872	613,255
売掛金	175,031	141,140
仕掛品	14,105	15,601
その他	35,845	40,792
流動資産合計	855,854	810,788
固定資産		
有形固定資産	30,603	32,044
無形固定資産	35,596	43,084
投資その他の資産	100,933	100,579
固定資産合計	167,133	175,708
資産合計	1,022,987	986,496
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	30,263	39,464
1年内返済予定の長期借入金	60,012	60,012
未払費用	82,329	61,070
未払法人税等	1,249	1,007
前受金	21,685	72,131
賞与引当金	13,651	10,667
返金引当金	382	256
その他	41,791	42,741
流動負債合計	251,365	287,350
固定負債		
長期借入金	204,981	189,978
繰延税金負債	1,202	1,200
固定負債合計	206,183	191,178
負債合計	457,549	478,528
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	211,564	212,370
資本剰余金	163,404	164,210
利益剰余金	190,470	129,426
株主資本合計	565,438	506,007
新株予約権	-	1,960
純資産合計	565,438	507,967
負債純資産合計	1,022,987	986,496

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	250,441	258,852
売上原価	101,353	159,142
売上総利益	149,088	99,710
販売費及び一般管理費	127,895	161,355
営業利益又は営業損失(△)	21,192	△61,645
営業外収益		
為替差益	-	931
雑収入	164	-
営業外収益合計	164	931
営業外費用		
支払利息	-	278
為替差損	2,967	-
雑損失	-	0
営業外費用合計	2,967	279
経常利益又は経常損失(△)	18,389	△60,993
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	18,389	△60,993
法人税、住民税及び事業税	1,094	187
法人税等調整額	5,930	△137
法人税等合計	7,024	50
四半期純利益又は四半期純損失(△)	11,364	△61,043

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	ソーシャル・ウ ェブメディア事 業	ビジネス・ウ ェブアプリケーシ ョン事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	140,210	110,231	250,441	-	250,441
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	140,210	110,231	250,441	-	250,441
セグメント利益又は損失 (△)	49,297	19,550	68,847	△47,654	21,192

(注) 1. セグメント利益の調整額△47,654千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。



## II 当第1四半期累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	ソーシャル・ウ ェブメディア事 業	ビジネス・ウ ェブアプリケー ション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	126,621	132,231	258,852	-	258,852
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	126,621	132,231	258,852	-	258,852
セグメント利益又は損失 (△)	△26,293	6,359	△19,933	△41,711	△61,645

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△41,711千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

- 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。